

証券コード:3286



2026年6月期 中間期 決算説明資料



2026年2月13日
トラストホールディングス株式会社

2026年6月期 中間期 業績サマリー



(単位:百万円)

	2025年6月期 中間期	2026年6月期 中間期	増減額	2026年6月期 通期予想
売上高	6,623	5,098	△1,524	14,000
営業利益又は 営業損失(△)	277	△0	△277	450
経常利益又は 経常損失(△)	237	△46	△283	310
親会社株主に帰属する 中間純利益又は損失(△)	115	△40	△156	200

- 駐車場事業: 計画比で上振れ (新規駐車場数の増加、既存駐車場の利益増等が寄与)
- 不動産事業: 既竣工物件の引渡し件数が未達

※第2四半期(中間期)に関する財務数値は連結ベースです。

Copyright 2025 TRUST Holdings Inc. All Rights Reserved.

セグメント別業績

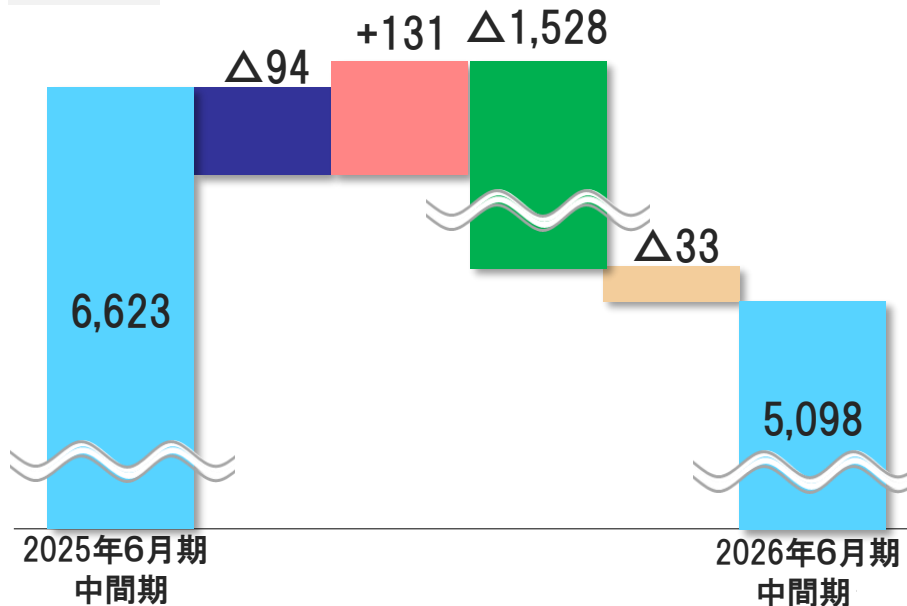


(単位:百万円)

2026年6月期 中間期	駐車場事業	駐車場等 小口化事業	不動産事業	その他	合計
売上高	3,522	344	386	845	5,098
営業利益又は 営業損失(△)	158	22	△171	△10	△0

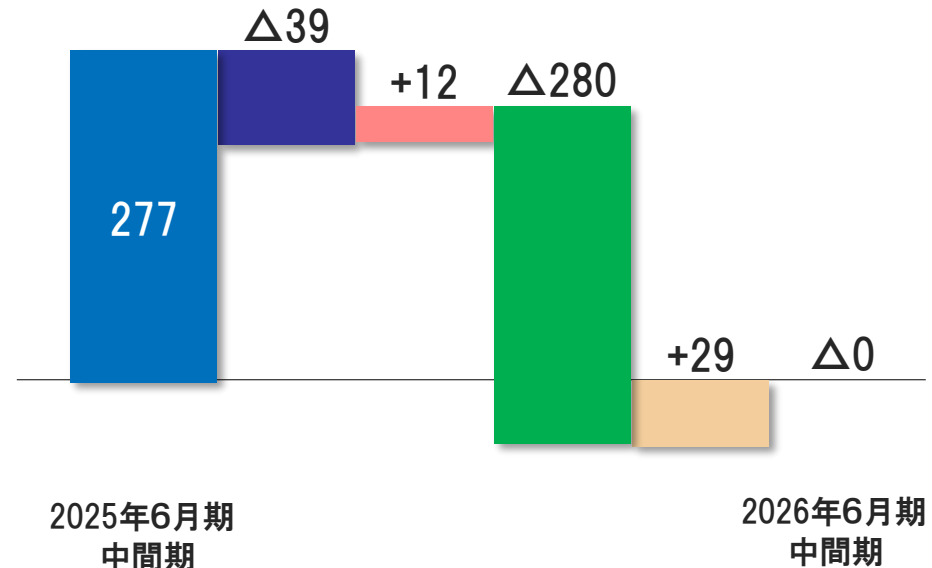
セグメント別増減

売上高



営業利益

(単位:百万円)



※その他には「メディカルサービス事業」、「RV事業」、「全社費用」及びセグメント間取引消去等を含んでおります。

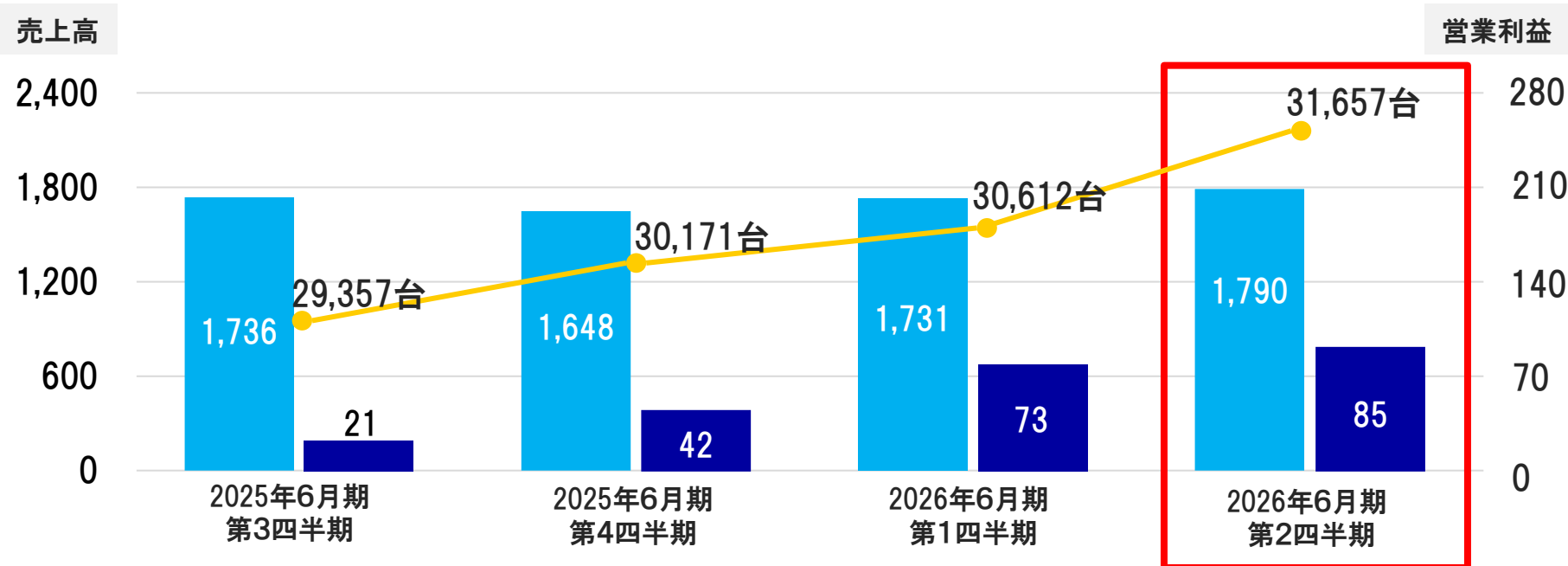
Copyright 2025 TRUST Holdings Inc. All Rights Reserved.

セグメント別概況(駐車場事業)



(単位:百万円)

売上高 営業利益 駐車場車室数



主な取組み	第2四半期(中間期)までの概況
新規駐車場の増加による収益基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●新規オープン数が順調に増加(車室数:前期末比+1,486台) ●法人・個人へのアプローチ等を強化 ●大型駐車場・自走式駐車場の開拓に注力
既存駐車場の利益率向上	需給状況や特需に応じたタイムリーな料金変更を実施 (料金の最適化・月極駐車場の稼働率向上)
その他の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●BPR(業務改革)による業務効率化と営業活動へのリソースを最大化 ●物件情報の収集力強化・データベース化による提案力強化

車泊事業が『日本サービス大賞』を受賞



トラストパーク株式会社における『車泊(くるまはく)』の取り組みが『第5回 日本サービス大賞』において『優秀賞』を受賞しました。車泊という新しい旅のカタチ、予約～決済まで全てオンラインで完結する利便性、観光資源に乏しい過疎地域に人を呼び込むサービスの質等が評価され、768件の応募の中から『優秀賞』に選出されました。

(日本サービス大賞)

国内のサービス提供事業者を対象に、サービスの高度化と産業の発展を先導する、きらりと光る新しい価値を提供しているサービスや、これまでになかった新しいやり方を実現している『革新的に優れたサービス』を表彰する制度です。

車泊とは？

車泊スペースに附帯の給電装置から電力を供給して快適な車中泊が楽しみいただけるサービスです
(公式サイト: <https://www.trustpark.co.jp/service/rvpark/>)



セグメント別概況(駐車場等小口化事業)



(単位:百万円)

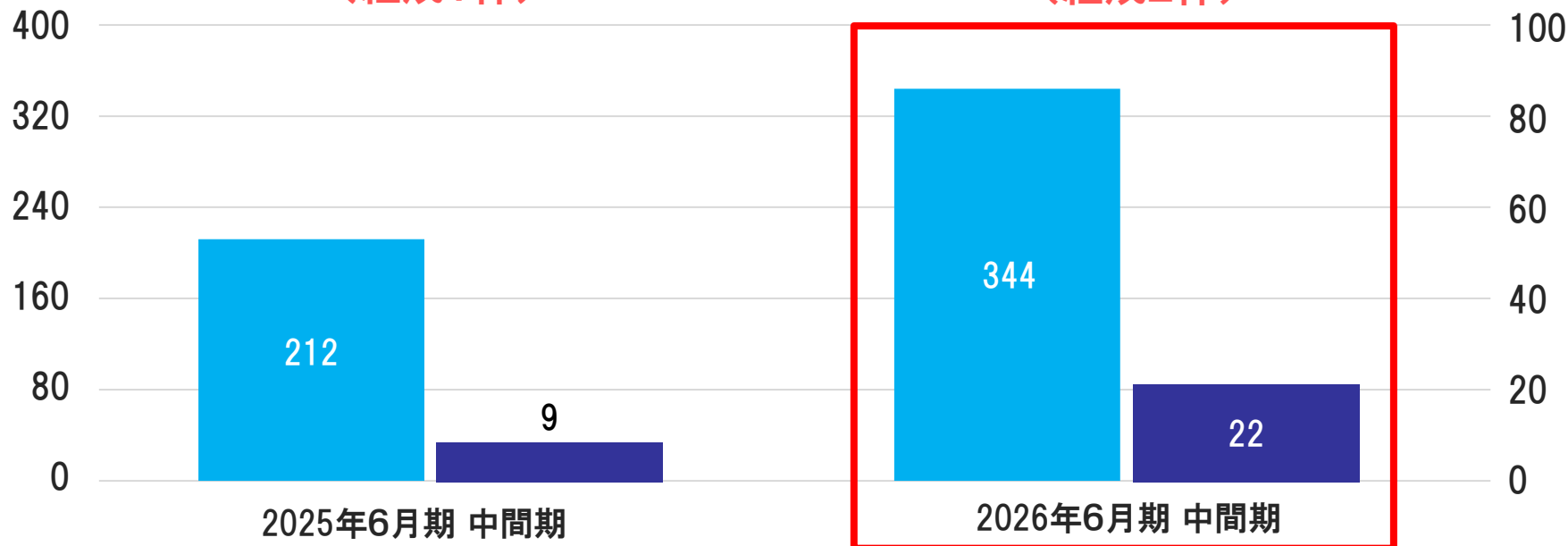
売上高 営業利益

売上高

営業利益

(組成1件)

(組成2件)



第2四半期(中間期)までの概況

不動産特定共同事業1号事業における組成件数・預かり資産の拡大

- 第38号商品の販売(藤沢市・別府市:組成金額155百万円)
- 第39号商品の販売(長崎市・下関市・呉市・尾道市:組成金額147百万円)

譲渡手数料収入が堅調に推移

その他の取組み

- 土地仕入体制の強化(情報収集・共有の仕組みを構築中)
- リスクヘッジ型(倒産隔離型)商品開発に向けた組織体制づくり・諸手続を進捗

セグメント別概況(不動産事業)



(単位:百万円)

	2025年6月期 第2四半期(中間期)	2026年6月期 第2四半期(中間期)	差異
売上高	1,914	386	△1,528
営業利益又は 営業損失(△)	108	△171	△280

	前 期 【2025年6月期 第2四半期(中間期)】	当 期 【2026年6月期 第2四半期(中間期)】
新築マンション 竣工	1棟竣工(総戸数44戸)	竣工なし
引渡し物件 (総戸数)	(既竣工物件) ・在庫物件は全戸引渡し完了	(既竣工物件) ・トラストレジデンス伊万里河畔(44戸) ・トラスト博多南駅レジデンス(23戸) ・その他戸建
	(新築物件) ・トラスト西鉄久留米駅レジデンス(44戸)	(新築物件) ・2026年6月竣工予定 トラスト白木原レジデンス(28戸) トラストレジデンス城内橋(69戸)
	(再販物件) —	(仕入/販売物件) ・ハレ プアラニ鴨池(12戸)

●今後も引き続き『既竣工物件・仕入販売物件の引渡し』、『当期竣工予定物件の契約獲得』に注力

セグメント別概況(その他)



(単位:百万円)

	2025年6月期 第2四半期(中間期)	2026年6月期 第2四半期(中間期)	差異
売上高	878	845	△33
営業利益又は 営業損失(△)	△39	△10	29

第2四半期(中間期)までの概況と今後の動き		
温浴事業	概況	来館者数が前年同期比で減少(近隣他店舗のリニューアル、天候不良による影響等)
	今後の動き	①新規顧客創造・リピーター強化(SNS販促、キャンペーン実施等) ②物販強化(OEM商品開発・店頭商品ラインナップの検討等)
RV事業	概況	納車時期のずれにより前年同期比で減収・減益
	今後の動き	①下取り・買取強化による中古車仕入 ②SNS・HP等を活用したカスタマイズ、リノベーションの受注強化
警備事業	概況	新規案件(常駐警備)の獲得、警備人員の増員等に注力
	今後の動き	①新規契約獲得に向けた営業体制強化(大型商業施設、物流施設等の常駐警備) ②警備人員の採用強化(紹介キャンペーン等)



TRUST HOLDINGS
トラストホールディングス株式会社

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式に関する投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績等につきましては、言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることにご留意ください。

【IRに関するお問い合わせ先】
トラストホールディングス株式会社
経営企画部 IR担当
TEL：092-437-8944 E-Mail：ir@trust-hd.co.jp